



石川県珠洲市 株式会社のろし
能登半島最先端・珠洲市発
 ～ 幻の「大浜大豆」を活用したコミュニティビジネスで
 地域復活の狼煙をあげる ～



交流施設「狼煙」のオープン初日。市民も待ち望んでいたため、多くの来場者があった。毎年、購買客数が増え続けており、平成23年度は初年度の約1.5倍の販売実績となった。

事例の概要

能登半島最先端、禄剛崎に位置する狼煙地区は、農林漁業のほか観光業の盛んな地区であったが、近年、観光客が減少し、飲食店や宿泊施設の廃業が相次ぐとともに、農業従事者の高齢化のため、耕作放棄地が増加、里山の荒廃が深刻化してきた。

平成9年に組織されたまちづくり団体である横山振興会が、地区でかつて生産されていた大浜大豆の栽培を復活させ、様々な商品開発に取り組んできた。

その後、平成21年4月に珠洲市が整備した交流施設「狼煙」の管理運営や、大浜大豆などの農産物の6次産業化を行うことを目的として、狼煙地区の多くの住民の出資により、株式会社のろしが平成21年1月に設立された。

当該株式会社は、地豆腐、豆乳ソフトクリームをはじめとする大浜大豆の加工品や地物の新鮮食材や手作り工芸品の販売、体験教室の実施などを交流施設「狼煙」で行うことで、地域産業の振興、交流人口の拡大を図っている。



交流施設「狼煙」では、大浜大豆を使用した「豆腐づくり」等の体験と農林水産物及びその加工品等の開発・販売により、都市部等との交流を図っている。



地豆「大浜大豆」と珠洲産天然にがりを使用した地豆腐を製造している。ネットを使っている購入も増えてきている。



地元住民が生産・加工したものを販売している。販売実績は年々増加。



豆腐づくり体験の様子。ほかにも、きなこづくり体験ができる。

評価のポイント

能登半島の最先端に位置する禄剛崎付近に位置する珠洲市の交流施設「狼煙」は、かつてあった売店復活を望む地区（半農半漁、観光を主とする地区）と、地豆腐などの大豆加工品の製造販売に本格的に取り組みたい地区（農業を主とする地区）のニーズを組み合わせでできた施設であり、当該施設の指定管理者として事業を展開しているのが、平成21年に地区住民の出資により設立された株式会社のろしである。

当該株式会社からは、黒字経営にこだわる強い意志と自分たちの商品への強い思い入れが伺え、また地場産品の開発に関しては、高い成果を上げている。具体的には、横山振興会が復活させた大浜大豆を使った地豆腐、豆乳ソフトクリームをはじめとする大豆の加工品、地物の新鮮食材や手作り工芸品の販売、体験教室の実施などを行っている。

その結果、事業開始初年度から黒字経営となっており、当該株式会社の活動の成果は、地区の集会場の修繕など地区住民へ還元されている。

また、交流施設「狼煙」は、当該会社の運営により、地域住民の買い物場所としても、観光バスのルートとしても定着し、地域内外から親しまれる存在となっている。

以上のように、株式会社のろしの達成意欲と行動力は高い評価に値し、持続可能なコミュニティビジネスのモデルとなり得る。

本事例においては、このような点が評価された。

石川県 珠洲市(すずし)

【団体名】 株式会社のろし
【所在地】 〒927-1441 石川県珠洲市狼煙町テ部11番
【連絡先】 TEL:0768-86-2525 FAX:0768-86-2555
 E-mail: info@noroshi.co.jp URL: http://www.noroshi.co.jp/

【交通のご案内】

- 自動車** ●金沢から能登有料道路、珠洲道路経由約2時間40分
- 鉄道** ●JR金沢駅から特急バス2時間30分(但し珠洲市内まで)
●のと鉄道穴水駅から路線バス2時間30分(但し珠洲市内まで)
※珠洲市内に入ってから、路線バスまたはタクシー30～50分
- 飛行機** ●能登空港から自動車約55分

国勢調査人口(単位:人)					人口増減率(単位:%)			
昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	H17/S35	H17/S55	H17/H12	H22/H17
35,827	27,351	19,852	18,050	16,300	-49.6	-34.0	-9.1	-9.7

高齢者・若年者比率(H22年)(単位:%)

高齢者比率	41.1	若年者比率	7.4
-------	------	-------	-----